

ね

FUCHU HOSPITAL

っとわーく

Vol.181

H30.6



直腸がんの治療戦略



府中病院

地域医療連携室



日本医療機能評価機構
認定第 GB83 号

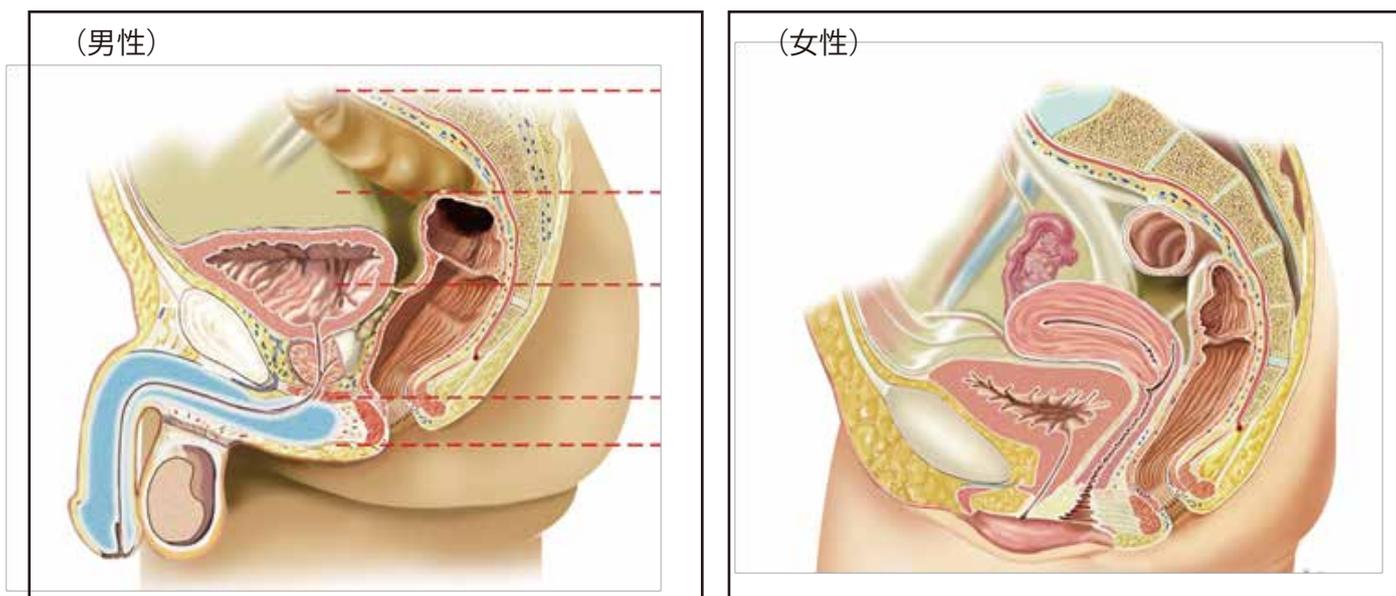
直腸がんの治療戦略

はじめに

平成30年4月からは、全国で限られた施設でロボット支援下直腸がん手術が保険適用となりました。当院でも6月よりロボット支援下直腸がん手術を開始していくこととなりました。そこで、現在の直腸がんに対する治療戦略について説明いたします。

[1] 手術療法

直腸は骨盤内の深く狭いところにあり、その周囲には神経や筋肉、前立腺・膀胱・子宮・卵巣など排便、排尿、性機能などの役割がある日常生活で重要な器官があります。これらは、骨盤内の自律神経によって調節されています。直腸がん手術での自律神経温存術とは、排尿機能と性機能を調節する自律神経を手術中に確認し、自律神経を残す手術法です。すべての神経が残れば、手術前と同様な機能を保つことが可能です。しかし、がんが自律神経の近くに及んでいるときは、神経を切除する手術が必要な場合もあり、機能障害が起こる可能性があります。なお、病状や手術の方法によっては、人工肛門の造設が必要になる場合があります。



進行度に応じたさまざまな手術法があり、代表的な手術は、直腸局所切除術、前方切除術、直腸切断術などです。

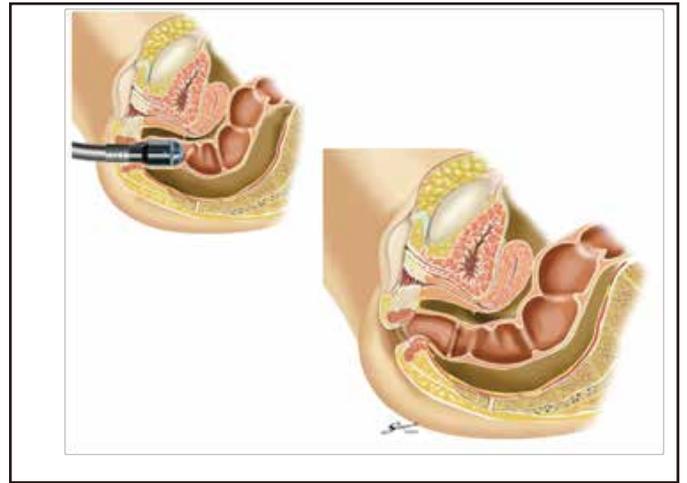
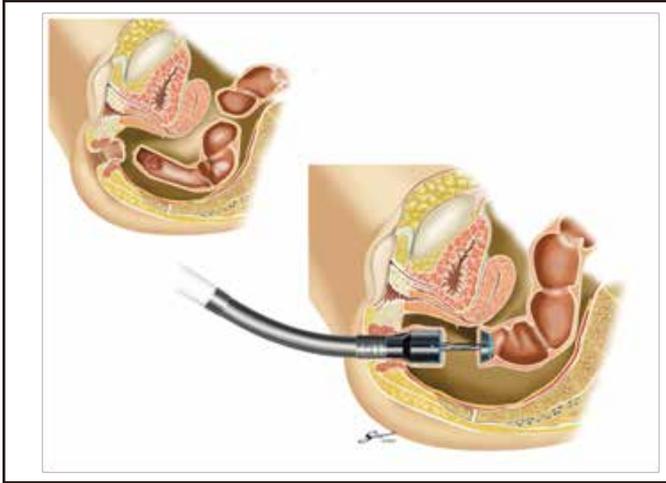
(1) 直腸局所切除術

早期の直腸がんで、がんのある部位が肛門に近い場合、肛門からがんのある腸管だけを切除する経肛門的切除（直視下あるいは内視鏡下）を行います。

(2) 前方切除術・括約筋間直腸切除術（ISR）

腹側から切開し、がんがある腸管を切除し縫い合わせます。ISRは肛門に近い下部直腸がんに対して、肛門の一部の筋肉のみ切除して肛門は温存します。この手術には高度な技術が必要で、根治性や機能障害を軽減する効果が明らかではないため、実施については担当医とよくご相談ください。

縫合不全の危険性がある場合は、一時的に人工肛門を造設する場合があります。人工肛門を造設した場合は、肛門機能や再発がないことを確認した上で約3-6ヵ月後に人工肛門閉鎖手術をします。

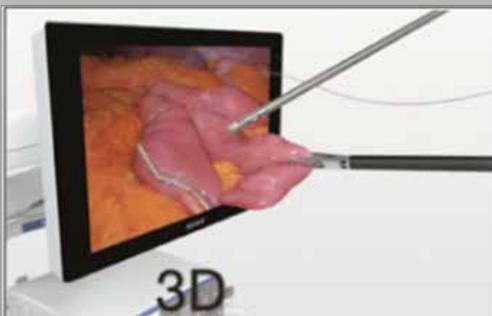


(3) 直腸切断術

肛門に近い直腸がんや肛門にできたがんでは、直腸と肛門を一緒に切除し、永久人工肛門（ストーマ）を造設します。高齢の場合は肛門括約筋の力が低下していることがあり、無理に肛門を残しても、手術後の排便コントロールが難しくなる可能性があるため、人工肛門の造設を勧めることもあります。看護師（WOCナース）による人工肛門の管理・教育や、患者会（オストメイト）など、ケアシステムのさまざまな取り組みが行われています。

(4) 腹腔鏡下手術

当院では上記の手術の90%を腹腔鏡手術で行っています。限られた視野で長い鉗子を操作して行う手術のため、術者としてトレーニングが必要です。当院は、日本内視鏡外科学会技術認定医が担当します。手術時間も1-3時間と短時間で施行可能になっています。創が小さいため、手術後の痛みが少なく、回復が早く、早期に退院できます。



腹腔鏡下手術の様子



(5) ロボット支援下手術

ダヴィンチ手術システムを使用する直腸がん手術は、医師がロボットによる支援下で手術を行うため、腹腔鏡手術よりさらに複雑で精密な手術が可能となると考えられます。後遺症が起こりにくく生活の質に配慮した、体に優しい手術が可能となるため、次世代手術の一端を担うと考えられています。



[2] 術前放射線化学療法

直腸がんの再発形式の中で最も高頻度であるのは骨盤内の局所再発です。原因として直腸間膜内への微小転移、側方リンパ節への転移、外科的剥離面近傍へのがんの浸潤が考えられています。手術単独では10-26%の局所再発率です。そこで術前に放射線化学療法を行うことで有意に局所再発を減少させることが報告されています。我々の施設でも18%の局所再発率を8.3%まで減少させています。

直腸がんでは、(1) 骨盤内からの再発の抑制、(2) 手術前のがんの大きさを縮小する、(3) 肛門を温存する、などを目的として行う術前放射線化学療法を行います。「NCCN ガイドライン・大腸がん治療ガイドライン」では、SS/A 以深 または所属リンパ節転移症例がフルオロピリミジン併用の術前放射線化学療法の適応となっています。T4 または切除不能局所進行症例は、手術適応症例の拡大や臓器温存手術の可能性が高まることを目指した術前化学放射線療法が適応となります。当院では、放射線治療:45～50.4 Gy/25～28回、化学療法 TS-1 を併用します。治療終了後8週あけて根治手術を行います。

[3] 化学療法

化学療法には2パターンあり、手術では直腸がんが取りきれない場合、大きさをおさえること(術前化学療法)。手術した後に再発を予防すること(術後補助化学療法)。

(1) 術前化学療法

「NCCN ガイドライン・大腸がん治療ガイドライン」では、SS/A 以深 または所属リンパ節転移症例に対する化学療法 5-FU+ロイコボリン+オキサリプラチン (mFOLFOX-6) が放射線化学療法と同様に推奨されています。

当院では、同系統のカペシタビン+オキサリプラチン (XELOX)、S-1+オキサリプラチン (SOX) を使用し、直腸がんが RAS 遺伝子野生型の場合は抗 EGFR 抗体を併用します。

(2) 術後補助化学療法

手術でがんをすべて切除しても、約17%は再発します。再発を抑える目的で補助化学療法が行われます。ステージIIIの大腸がんまたはステージIIの大腸がん再発の可能性が高いがんに行います。

UFT + コーゼル錠もしくはゼローダ錠の予防効果が注射療法と同等であることが米国で示されています。最近では持続静脈投与による 5-FU + ロイコボリン + オキサリプラチン (mFOLFOX-6) や注射と内服薬の併用 カペシタビン + オキサリプラチン (XELOX) も再発予防効果が良い報告があります。

以上、直腸がんに対しては手術療法、放射線療法、化学療法を術前診断によるステージで単独療法および併用療法を行い、がんの根治および再発予防を目指しています。また手術療法も腹腔鏡下手術およびロボット支援下手術を行うことで精度の高い後遺症を減らす努力を続けています。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

今月の担当医師



副院長 外科センターセンター長

内間 恭武(うちま やすたけ)

<資格等>

日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医・専門医・指導医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医・評議員
日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科)・評議員
ロボット(da Vinci)手術認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
近畿外科学会評議員
近畿内視鏡外科学会世話人
身体障害者法指定医(膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害)
The Best Doctors in Japan 2018-2019

是非、
ご参加ください！



第13回病診オープンカンファレンス(外科センター) 開催のご案内

<日時> 平成30年8月25日(土) 15:00 ~ 16:00

<場所> 府中病院 東館一階『健康教室』

地域の先生方からご紹介頂いた症例を中心に、治療経過や治療方針について討論させて頂きたいと存じます。この会を通じて先生方とのより深い連携を進めていきたいと考えておりますので、ご多忙とは存じますが、奮ってご参加頂きますようよろしくお願い申し上げます。



ご予約の申込み・お問合せは地域医療連携室までご連絡ください。

0120-40-2147

(TEL) 0725-40-2147 (FAX) 0725-40-2148

【予約受付時間】

月曜～金曜：午前9:00から午後8:00まで
土曜日：午前9:00から午後5:00まで
※上記時間外および日曜・祝祭日は業務を行っておりません。

当院にて開催予定のセミナー・勉強会・イベントをご紹介します！

2018. 7 月

第 29 回府中循環器セミナー

心不全再入院はなぜ減らないのか？

～早期発見するための新たな自己管理ツール～

日時：平成 30 年 7 月 7 日 (土) 14:00 ～ 16:00

場所：府中病院 西館地下 1 階 セミナーホール

第 12 回病診オープンカンファレンス (消化器内科)

当院消化器内科へご紹介いただいた患者さんの症例提示 (3 症例)

日時：平成 30 年 7 月 14 日 (土) 15:00 ～ 16:30

場所：府中病院 東館 1 階 健康教室

2018. 8 月

第 13 回病診オープンカンファレンス (外科センター)

当院外科センターへご紹介いただいた患者さんの症例提示 (3 症例)

日時：平成 30 年 8 月 25 日 (土) 15:00 ～ 16:30

場所：府中病院 東館 1 階 健康教室

2018. 9 月

第 14 回病診オープンカンファレンス (循環器内科)

当院循環器内科へご紹介いただいた患者さんの症例提示 (3 症例)

日時：平成 30 年 9 月 22 日 (土) 15:00 ～ 16:30

場所：府中病院 東館 1 階 健康教室

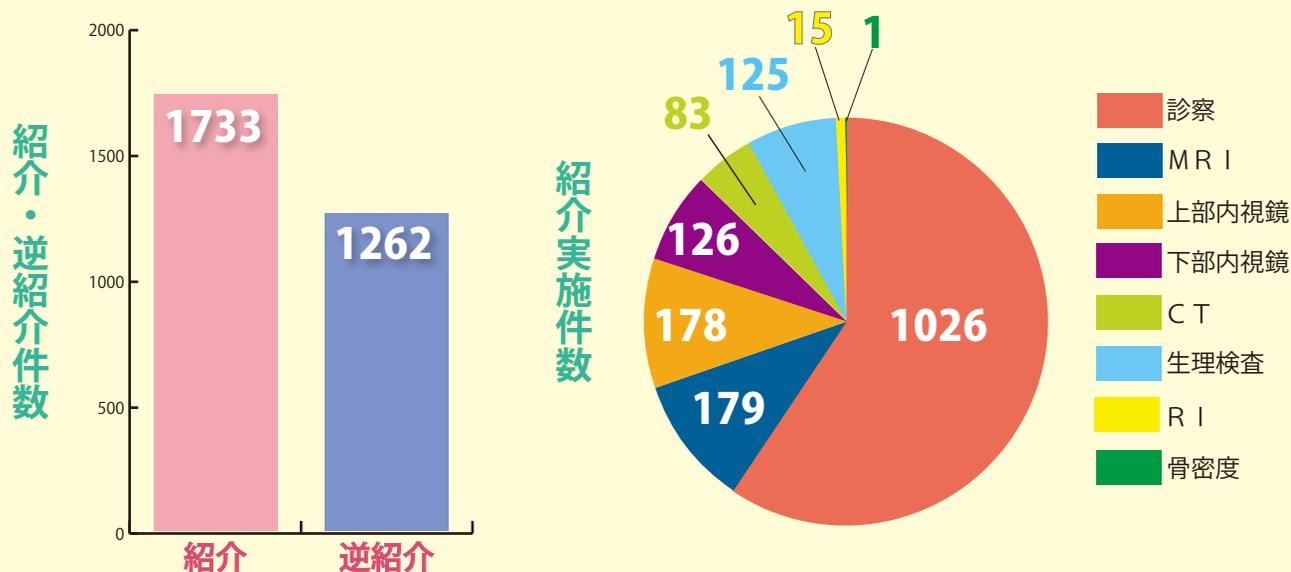
第 18 回府中臨床懇話会

魁!! 診断塾～初診外来でできる”不明な”病態へのアプローチ～

日時：平成 30 年 9 月 29 日 (土) 15:00 ～ 17:00

場所：ホテルレイクアルスターアルザ泉大津 4F ロイヤルホール

紹介実績 <平成 30 年 5 月>



2018年6月・181号 ねっとわーく

発行責任者：院長 竹内一浩

編集責任者：地域連携部 松田有裕

編集者：地域医療連携室 森舞子

〒594-0076 和泉市肥子町1丁目10番17号 府中病院 地域医療連携室

TEL：0725-40-2147 予約専用フリーダイヤル：0120-40-2147

FAX：0725-40-2148 E-mail：chiikirenkei@fh.seichokai.or.jp

私たちの理念

愛の医療と福祉の実現。

地域と職員と共に栄えるチーム

Yu・ki・to・do・ku ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

チームとして、そしてパートナーとして
チャレンジします。

3つのベストにチャレンジします。